

平成 2 8 年第 4 回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

6 月 9 日 (木) 午前 1 0 時～

1	倉 岡	誠	議員	(6 0 分)
2	舘 花	一 仁	議員	(6 0 分)
3	小 田	修	議員	(6 0 分)

6 月 1 0 日 (金) 午前 1 0 時～

4	福 島	壽 榮	議員	(6 0 分)
5	児 玉	政 明	議員	(6 0 分)
6	吉 村	ア イ	議員	(6 0 分)

□質問時間割当表

10:00		11:00	11:10	12:10	13:00	14:00
6 月 9 日 (木)	倉岡 誠 (60 分)	休憩 10 分間	舘花一仁 (60 分)	休 憩	小田 修 (60 分)	
10:00		11:00	11:10	12:10	13:00	14:00
6 月 10 日 (金)	福島壽榮 (60 分)	休憩 10 分間	児玉政明 (60 分)	休 憩	吉村アイ (60 分)	

平成 2 8 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	市長の政治姿勢について			① 新年度、市長が自治会からの手上げ方式により積極的に自治会住民と対話し、市民が直面している現実をとらえ、直ちに市政に反映させていく試みとして「市長の地域ミーティング」を実施することは、市長自身の政治公約・政治信条のもとに、どのように鹿角市に活性化・振興策の成熟度を高めて実行に移していくのか。市民の信頼を早期に取り戻していくのか伺う。市長自らの言葉で答弁を期待するものであり所見を伺う。	
2	葛飾区との協定について			① 長年継続してきた「四つ木小学校」との都市農村交流事業では、四つ木地区の関係者の理解と協力の輪が広がり、地元農産物や観光 P R 等を交えた「食の交流祭り」が開催され、大きな成果が導かれている。この事業を展開する中で、学校・地域との個別的な交流から、さらに広がりを持たせた交流、すなわち葛飾区との包括的・総合的な交流まで発展できないものかと考える。 協定書を結ばれたようであるが、そこで伺う。 協定書の内容はどのようなものになっているのか。経済面での交流策や文化・スポーツ面での交流策、子供たちだけではなく青年層での交流策、移住・定住のターゲットを葛飾区に絞るなど、今後、さらに交流が発展・充実していく要素が盛り込まれているのか、今年度の具体的な取り組みについて伺う。	
3	教育民生関係について (1) 新制度における教育長の使命・姿勢について			① 地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、昨年 4 月 1 日から施行されている。鹿角市では、昨年度、総合教育会議を設置し、市長の名のもとに教育大綱が策定され、6 次総後期基本計画と歩調を合わせた教育行政が進められるものと理解をしている。 初日の本会議で市長が直接議会に提案した任命案件が可決されたところであるが、一般市民にとっては具体的に何がどのように改革・改善されたのか見えにくいというのが現実ではないかと思う。 現在の制度の特徴でもある一般市民の意見を教育行政に反映させていく、すなわち「レイマンコントロール」の趣旨が侵されることは無いのか。また、いじめによる自殺等の重篤事案にどのように対処することになるのか。首長による教育行政に対する権限が拡大しすぎることにならないか。首長と	

平成 2 8 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(2) コモッセの指定管理者制度への移行と利活用促進について					新教育長との責任所在が混在化するのではないかな等の素朴な疑問があり、これらに対する明快な答弁を求めるものである。 さらには、新教育長として、現任期中の課題・問題点・成果等を総括し、今後、3 年間の任期中でいかなる鹿角らしい教育行政を推進しようとしているのか、所見を伺う。
					① 学習文化交流施設「コモッセ」は、開館初年度目標を大きく上回る利用実績があったことは、称賛すべきものと考ええる。この利用者の内訳を見ると花輪図書館の利用者が突出し、整備前の平成 2 5 年度との比較では約 7. 3 倍となっており、民間ノウハウの活用を主眼とした指定管理者の存在・努力が大きく起因していると考えられる。 固定概念を打ち破り新たな概念を生み出し、市民に定着しつつあることが見てとれる。他施設についても早期に指定管理者制度を導入すべきと考えるが、当局の考えを伺う。 市内には、一定の企画運営能力を持った組織が多数存在することから、これらを育成・支援し指定管理者とすることも想定すべきと考えるが、所見を伺う。
	(3) 第九合唱について				① コモッセ開館 2 年目を迎え、コモッセ開館に合わせて進め、年々、参加者が増え、レベルも上がってきたと評価され、市民の待望感・期待感も高まってきていた第九合唱が終了するとのことであり、関係者の落胆は大きいものがある。市教育委員会が深くかかわってきており、コモッセ開館までの 3 年間の期間限定の公演であることも承知しているが、せっかくの芸術文化の一つの灯りがともったこのプログラムが終わってしまうことは誠に残念でならない 芸術文化で今後、発展性が大いに期待されるコーラス部門の育成の面からも、是非とも第九合唱の継続について市の力添えを期待するとともに、著名人の講演やコンサート、講座開設など、市民の関心を呼ぶ優れた企画を絶え間なく打ち出すべきと思うが、市の所見を伺う。
4	政策研究所の調査研究活動について				① 人口減少社会の進行を見据え、鹿角市が平成 2 6 年度から独自に設置した政策研究所は、当初のテーマを「都市ブランドの確立」、「産業力の強化」、「人口減少社会を担う人・コミュニティづくり」の

平成28年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	1	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
5	地域経済の活性化について			3つとして、調査研究を進められてきたところである。 国も人口減少問題に対応するため、平成27年度から地方創生総合戦略を打ち出したことから、いち早くこれに対応することができたと思う。この研究成果は、市の後期基本計画に生かされていると思うが、計画にどのように反映されたのか伺う。併せて、政策研究所として、今後も地域課題の解決に向け、さらに調査研究を進めていかれるものと思うが、新たにどのような課題を設定し、調査研究を進めていく予定なのか伺う。 ① 先の行政報告において、昨年度実施したプレミアム商品券等の発行事業により、7億1,600万円余りの経済波及効果があり、地域経済の活性化に大きく寄与したと評価されているが、一方で最近の県内の経済情勢は、一部に持ち直しの兆しはあるものの、総じて足踏み状態にあるとされている。市内経済においても今一つ停滞感から脱却できていないように感じられる。 今年は、十和田八幡平国立公園指定80・60周年の記念すべき年であり、誘客キャンペーン等で多くの観光客の来訪を期待するものであるが、これに合わせて今年度も国立公園指定80・60周年記念プレミアム商品券発行事業を実施し、市内経済の後押しを図ってはどうかと考えるが、市長の所見を伺う。	
6	農業構造改革ビジョンの推進について			① 昨今、農業においては、担い手不足と高齢化が進行し、また、TPP問題など、取り巻く情勢は厳しさを増している。そうした中、市では農業構造改革ビジョンにより、これまでの生産重視型の農業から販売重視型の農業構造、いわゆる成長産業に改革していこうとしている。 これまで、農業の法人化を推進してきたが、そのほとんどは通年経営にはまだほど遠い状況に見受けられる。もとより、通年で安定的な事業収入を確保し経営できなければ法人化した意義もないと思われる。これから企業的経営感覚の醸成や6次産業化、多角経営化に向けた経営支援体制を強化していく必要があると考える。今年度においてどのような経営支援の取り組みをしていくのか伺う。 併せて、これから企業経営感覚を持った新たな農業人材の育成確保も重要であると思われる。若手農業者や新規就農者の育成をどのように進めていくのか、さらに、移住促進の面からも農業は大きな	

平成 2 8 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.4

順位	1	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
7	行政改革の取り組みについて			魅力、資源となりうるものと思われる。昨年度、首都圏での新農業人フェアに参加したと聞いているが、その感触はどうであったのか、そして今後の取り組み方向について伺う。 ① 今年度から 3 2 年度までの 5 カ年を計画期間として、第 9 次鹿角市行政改革大綱がスタートしているが、市はこれを、総合計画を推進するための行政系方針と位置づけ、さらなる業務の効率化と行政サービスの適正化を図るとしている。従来から行政改革と言えば経費の節減やサービスの低下につながるものと捉えられるが、これからは量より質の向上であり、いかに行政サービスを低下させないで効率的、効果的な行政経営をしていくのかが問われると思う。この点について配慮して、第 9 次行革大綱ではどのような取り組みを行っていくのか伺う。併せて、昨年度において公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設等の総量を今後 1 0 年で 5 % の縮減を図るとしているが、この計画は基本方針を示したものであり、今後の具体的統廃合計画の策定をどのように進めていくのか伺う。	
	8 十和田八幡平国立公園指定 8 0 ・ 6 0 に関連して			① 先般、標記関連記念事業に参加した際、特に、偉観に遭遇する場面があったが、非常にショックを受けた。せっかくの眺望を案内表示で、観光客の心・思いを疲弊させる状況に絶句した。 この際、八幡平国立公園指定 6 0 周年を契機に案内表示等すべて更新するべきと思うが、所見を伺う。	

平成28年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	館花 一仁	質問所要時間	60 分	No.1
質 問 事 項				質 問 要 旨		
1 災害への対策について				① 花輪東断層帯について イ. 地震の発生確率と被害予測についてどのように考えているか。 ロ. 市役所周辺が被害を受けた場合、災害対策本部はどの施設へ設置を考えているか。 ハ. 消防署十和田分署を災害対策本部として活用可能な施設として整備する考えはあるか。		
				② 避難所について イ. 熊本地震では当初避難所として予定していた施設が倒壊し使用不可能な状況も発生した。熊本地震を教訓として、市のマニュアルを改定あるいは運用面で拡充する考えはあるか。 ロ. プライバシーの観点から避難所として不適当と思われる施設もあるが、どのように避難所運営を進める予定か。 ハ. 避難所として各地域の自治会館を使用する場合、耐震化は問題ないか。また、耐震化のための補助金を出す考えはないか。		
				③ 消防団について イ. 消防団の定数と充足率についてどのようになっているか。 ロ. 消防団の知名度向上と消防団員の士気向上のため「消防団サポート事業所制度」を創設する考えはないか。		
				① 再編までのスケジュールについて、住民への説明は万全か。		
				② 学校再編決定後、市民や企業から空き校舎に対する利活用について問い合わせがあるか、また、本市として、現時点で利活用計画があるか。		
2 学校再編について						

平成28年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	2	質問者	舘花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3 選挙について				③ 高校再編について イ. 統合校の立地場所など県への要望は出しているのか。 ロ. 十和田高校を十和田小学校及び十和田図書館として整備する考えはあるか。	
				① 年齢引き下げによる制度の周知について、どのような対策が進められているか。	
				② 投票所の統廃合に関して、どのような方針により進められているのか、また市民の投票機会の損失がない見直しなのか。	
4 観光地鹿角の復活について				③ 期日前投票所の増設について周知は万全か。	
				① 八幡平国立公園指定60周年及び十和田湖80周年記念事業で予定されているものはなにか。	
				② 区切りの年に十和田八幡平の観光の復活に向けて今後どのような取り組みを加速化していくつもりか。	
5 文化振興について				③ 文化、教育、遊びなど様々な要素が交流人口の増加につながるが、どのような考えをもって観光振興を考えていくのか。	
				④ 観光と防災あるいはスポーツと結びつくと思われるトレーラーハウスを整備する考えはないか。	
				① コモッセについて イ. 2年目は勝負の年であると考えてるが、どのように運営していくつもりか。 ロ. コモッセ開館を受けて他の市民センターや交流センター、MITプラザなどの利用者数は、どのような影響をうけているのか。 ハ. 10年後のあるべき姿をどのようなものを標榜し、運営していくのか。	

平成28年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	2	質問者	舘花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
6	子育て支援について			① 子どもの相談に関する業務が年代に応じて分かれているが、相談窓口を一本化した「子育て支援課」を創設できないか。	
7	市職員への研修について			① 今回の職員の不祥事の経緯と今後の対応策はどうするのか。 ② 市職員の育成について イ．長期研修はどのような研修にどのような考えで出しているのか。 ロ．職員の自主的な学習機会に対する支援制度はあるのか。	

平成28年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1					
順位	3	質問者	小田 修	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 ストーンサークルの告発問題について					
(1) 委託業務の対応について				① 委託業務に関し長年にわたり不適切な設計積算が続いていたとされ、監査委員から原因究明と再発防止及び職場の体制や組織の在り方の改善を求められているが、今後どう取り組んでいくのか伺う。	
(2) 芝や樹木の管理について				① 芝の管理には芝刈りだけでなく追肥や除草も必要であり、6千本もある樹木も薬剤散布はもとより剪定や冬囲いも必要と考えられる。世界遺産を目指す施設の環境整備としてこれまでの現場管理は十分であったのか。必要と思われる予算の増額措置も含め今後どう対応するのか伺う。	
(3) 職員の配置について				① ストーンサークル館は本年度より職員の専任配置など体制強化が図られた。しかし今回の事件で長年不適切処理に関わり処分された職員も再任用され、ストーンサークル館に配置されたが、新たな職員の役割をどう考えているのか伺う。	
(4) ストーンサークルの魅力度アップについて				① 北秋田市の伊勢堂岱遺跡の展示館がオープンし連日にぎわっている。今回の事件をバネに、世界遺産登録に向け縄文遺跡の元祖であるストーンサークルの評価や魅力度アップのため、イベントや営業に真剣に取り組む必要があると考えるが、方針を伺う。	
2 市営住宅使用料の横領事件について				① 3年も犯罪を見過ごすことになった具体的な要因と今後の対策について、第三者を含む委員会の設置も検討するとのことだが、具体的な取り組みについて伺う。	
3 市役所の課題について				① 定例会冒頭に市長が近年の事務の不適切処理や不祥事が相次いでいることについて陳謝し、改善に自ら先頭に立ち対応すると発言されたが、市役所内部の主な課題をどう認識し、どう改善に取り組むつもりなのか伺う。	

平成 2 8 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	小田 修	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4 地方創生について					
(1) 少子化対策について				① 直接的婚活仲介者の役割を担っている秋田県結婚支援センターは、設立以来 7 8 0 人の成婚実績を上げている。このうち鹿角出身者は 1 2 人で登録者も他市と比べ少ない。この原因は場所が遠いことと、情報不足によると考えられる。この状況を改善し実績を上げるため、分所を鹿角に設置することを検討できないか伺う。 ② 他地域と比べ鹿角市の二子、三子割合が高く、出生率も高いのは、地域の宝祝い金制度の効果も大きいと思うが、本年度取りやめになった。多くの子供を希望する母親への応援として復活させたらどうか。	
(2) 社会減への取り組みについて				① 増田氏の本「地方消滅」では女性の数が現状から半減する地方は消滅に向かうとされている。当市においても例外ではないが、近年の特徴として 2 0 代の女性の地元に残る数が極端に少なくなっている。移住への取り組み以上に、この年代を主に地元出身者の帰郷戦略にも力を入れたらどうか。	
(3) 製造業の振興について				① 地元製造業の振興は地域所得向上と雇用の確保の意味で最重要な課題であるが、現状の課題として多く言われるのは、求人難である。このため事業拡大や新規立地になかなか踏み切れない状況が多くみられる。これからはさらに人口減に伴う労働人口減により、もっとこの状況が深刻になる。この課題にどう取り組んだらいいのか、考えを伺う。 ② 卒業後地元就職者を増やすために、就職支援補助金を復活させることや、就職者個人への準備金支給も検討したらどうか。	
(4) 観光について				① 観光を稼げる産業として育てるためには、市単独の取り組みには限界がある。「秋田犬ツーリズム」DMOは上小阿仁村の参加や仙北市との連携も進め、北東北全域を視野に入れた高度な情報発信や観光戦略を練っている。当市も早く参加し、広域な観光圏域形成に協力し、期待される成果を共有すべきと思うが、対応を伺う。	

平成２８年第４回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	福島 壽榮	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	地域振興について			① 葛飾区との交流拡大協定について ② 移住促進の取り組みについて ③ 地方創生の特区戦略はなにか ④ 国道２８２号について	
2	農業振興について			① 米の生産調整について、水田転換主力作物づくり戦略は何か。 ② 植樹祭の今後について	
3	観光振興について			① 「あるものさがし」と「みがきあげ」にどう取り組むか。 ② 「湯の駅おおゆ」の魅力アップ対策は何か。 ③ 十八観光の「８０６０」後の展開について	
4	教育関係について			① 空き施設のリニューアルを含めてどのように検討しているか。	

平成28年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	児玉 政明	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	市長の市政運営について			① 3期目の任期も残り1年となったが、これまでの3年間を振り返り成果を上げられた施策や戦略、あるいはさらなる取り組みが必要と思われる施策や課題などがあるか伺う。併せて、今任期残り1年の意気込みを伺う。 ② 今年度、市民と直接語り合う地域ミーティングが設けられたが、開催の内容と現在の開催状況を伺う。	
2	市営住宅使用料着服の不祥事について			① 市営住宅使用料の着服行為はなぜ起こったのか、発生の原因と当該職員の問題点、組織・職場としての問題点を市長はどのように分析しているか伺う。 ② 今後取り組むべき対策として、具体的な再発防止の強化策について伺う。 ③ 全国的に不祥事があった場合はマスコミ等でも報道され、当事者は職を失うなど重い処分が科される。以前本市でも不祥事があり関係する市職員が処分されたが、またも市職員による不祥事が発生した。なぜ不祥事というものはなくなるのか、市長の見解を伺う。 ④ 不祥事防止の鍵は職場を管理し職員の意識を左右する管理監督者が握っているのではないかと思うが、不祥事防止のための管理監督者としての心構えと、職員としての心構えはどのような行動や意識が必要と思うか市長の考えを伺う。	
3	食品ロス削減に向けた取り組みについて			① 食べられる状態なのに捨てられる食品ロスは家庭やスーパー、ホテル、飲食店などあらゆるところで見受けられるが、本市の食品ロスの状況と削減に向けた対策や、フードバンクの取り組みについて伺う。	

平成28年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	児玉 政明	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4	子ども救命士の育成について			② 小中学校など、教育施設における学校給食や食育、環境教育などを通して、食品ロス削減の啓発を進めることが必要と思うが考えを伺う。	
				③ 本市の災害備蓄食品の更新時、廃棄の抑制を図る観点から、消費期限の一定期間前にフードバンク等へ寄付を行ない、生活困窮者の支援を検討してはどうかと思うが考えを伺う。	
				④ フードドライブの活動拠点会場を、市役所として積極的に協力していく考えはないか伺う。	
5	スポーツ少年団の社会体育化について			① 子どもを対象とした救命救急講習の取り組み状況の内容と、小学校の高学年など、より早い段階での救命救急講習を実施して子ども救命士を育成する考えはないか伺う。	
				① 来年度スタートするスポーツ少年団の社会体育化について、運営の仕方や組織構成のあり方、役割やルールなど、市としての統一の基準や方針、方向性を早急に示す時期に来ていると思うが考えを伺う。	
				② スポーツ少年団として活動する野球、ミニバスケットボール以外の競技で、特にスキーや陸上競技といった種目の活動の仕方はどのような考えがあるか伺う。	
6	施設の有効利用について			③ 今後想定される課題や問題を、各学校や親の会から提出してもらい課題解決が必要と思うが、どのように対応していくのか伺う。	
				① 統廃合となった平元保育園、柴内保育園、米代保育園の施設の有効活用、跡地利用について、現在の利用状況と今後の利用計画について伺う。	

平成 2 8 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 男女共同参画の推進について (1) 市の審議会等委員への女性登用目標について (2) 鹿角市男女共同参画計画について (3) 市職員における管理職（課長級以上）に占める女性の割合について				① 平成 2 7 年度の目標値 3 0 % は達成できなかったとのことだが、要因について伺う。 ① 平成 2 8 年度からの第 3 次鹿角市男女共同参画計画の中で市独自の取り組みと計画を伺う。 ① 平成 2 7 年度の登用率は 1 0 . 5 % であったが、今年度は何人で女性の登用率は何%であったか伺う。 ② 県女性の活躍推進本部の会合で、市町村の女性管理職の割合を平成 3 2 年度までに 2 0 % とする目標値を設定しているが、市の目標値を伺う。	
2 市の職員教育について (1) 市職員の事件・事故等があった後の対策について				① 新人研修のほかに、職員の意識改革やメンタルヘルス的な部分での職員研修はどのように行っているか伺う。 ② 事件事故後、再発防止のために全庁的にどのような周知をし、対策を行なっているのか伺う。 ③ 業務の見直しも大切と思うが、市民の目が厳しくなっている時こそ理解してもらえる機会ととらえて、職員一丸となってどうしたら信頼を取り戻せるか対策会議を行ない、指標を示したらどうか。	
3 大湯環状列石への植樹について (1) 植樹後の手入れについて				① 今年度の植樹祭後の植樹の総本数は 2 千本を超えたが、教育委員会生涯学習課で行なう防虫散布や施肥等の管理数は何本になるのか伺う。	

平成 2 8 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(2) 縄文の森計画について				① 昨年的一般質問の答弁で、今後 1 0 回、2 0 回ぐらいは十分植えられるスペースがあるとのことだが、防虫散布や施肥管理等の予算が倍増していくと考えられる。市民の中にはあれ以上植えない方がいいという意見もあるが、今後の計画を伺う。	
4 日本遺産について					
(1) 本県が申請した「菅江真澄が記した江戸時代の秋田」について				① 江戸時代の紀行家「菅江真澄」は、鹿角地方にもたびたび訪れているが、県が日本遺産に申請するにあたり、市としては参画したか伺う。	
				② 日本遺産は去年は 1 8 件、今年は 1 9 件、合わせて 3 3 府県 3 7 件になった。政府は今年 3 月末にまとめた観光戦略で、訪日外国人旅行者を年間 4 千万人に倍増させる目標を設定している。来年度県と連携して鹿角ゆかりの「菅江真澄」についての日本遺産認定を目指すことを検討できないか伺う。	